



2021
議会だより

よしか

第59号



さあ、これからだ!
翔
吉い高(よしいこう)!
吉賀町とともに!



題字：吉賀高校3年 岡本ひなたさん
写真：吉賀高校2年 中川綾音さん・岡本碩果さん

▶ 第1回定例会概要.....	2~6	▶ 一般質問.....	13~16
▶ 臨時会.....	7	▶ 議会報告会.....	17
▶ 全員協議会.....	8	▶ 意見交換会・常任委員会・編集後記.....	18
▶ 議決結果表.....	11~12		

第1回 定例会

《令和3年3月5日～19日の15日間》

一般会計当初予算	72億3040万円	(否決)
特別会計(7件)	26億0584万円	(可決)
水道事業会計	4億1846万円	(可決)
その他提案された議案	20件	(可決)
同意	12件	(同意)

第2回 臨時会

《令和3年3月29日》

再提出された、一般会計当初予算 (可決)
71億9726万円



臨時会での可決

令和3年度 一般会計当初予算を否決

令和3年度の当初予算が賛成4名、反対7名で否決されました。町政史上初めてのことであり、全国的にもまれなことです。

提案された予算案には、議員が容認しがたい事案があったということです。

問題になった要因は、
二つありました

一つは第三セクター整理交付金4700万円です。内容は第三セクター「エポック」に4700万円の損失補填をするというものです。

この件については、大多和議員ほか3名から4700万円を0円にする修正動議が提出されました。しかし、この修正動議は賛成4名、反対7名で否決されました。

二つ目は、地域商社事業の中止を求めるものでした。

このことを受け、議員の判断は大きく3パターンに分かれました。

・第三セクター交付金も地域商社も可とするもの

・第三セクター交付金も地域商社も可とするもの

・第三セクター交付金は可、地域商社は否とするもの

でした。

再提出された予算案

3月19日、定例会で否決された令和3年度一般会計予算案は、執行部より3月29日に修正し、再提出されました。

内容は、第三セクター整理交付金4700万円を3000万円に変更し、地域商社は中止するというものでした。

【採決の結果、賛成9名、反対2名の賛成多数で可決されました。】

主な質疑

「エポックかきのきむちらについて」

河村(産)議員

町長は4700万円は上限で、町が3000万円、「エポック」が1700万円負担すると言ったが、本当に確約できるのか。

【副町長】

「エポック」と協議した結果、町の責任と、会社の責任の部分で、このような負担になっている。

大庭議員

法的な責任がないのに、なぜ町が負担しなければならぬのか。

【副町長】

第三セクターとして、町が産業振興などを目的に出資して作った会社である。当然町に社会的責任はある。

庭田議員

第三セクターとしての町の責任を考えれば、多額の負債を個人に押し付けて事業から撤退し、責任を放棄するというやり方は行政のやることではない。返済できるように町は責任を持つべきである。

【副町長】
金融機関と町、「エポック」の三者で協議を進めていく。

「地域商社について」

藤井議員

住民の合意が得られていないなかで、今のやり方が本当に必要なのか。町内での機運を作ることが先ではないのか。

【産業課長】

いろいろな指導をいただいている。進め方は産業課が窓口になっているので、そのように進めていきたい。

河村(産)議員

産業課がブランド化を進めたサフラン、ラツキョウ等、生産者もいなくなり、頓挫している。今になってなぜ地域商社が必要なのか。町長の思い入れだけの事業ではないのか。

【町長】

全てのことは議会で説明し、予算を議決していただいたうえで事業を執行している。

藤井議員

2・5の園地で、非常に良いシイタケが生産されている。町もきのこ組合と協議し、町の産業として育てるべきと考えるが。

【産業課長】
生産者へのどのような支援があるのかわからないが、町としての支援は行っていきたい。

一般会計予算に修正案 提出される

◇一般会計予算に、4名の議員より修正案が提出されました。

【提出者】 大多和安一 桜下善博
大庭澄人 三浦浩明

【内容】

歳出のうち、第三セクター整理交付金4700万円をすべて減額し、それに伴い、歳入の財政調整基金繰入金と同額減額するもの

【理由】

第三セクター等の経営健全化等に関する指針には、法人の経営責任を明確化しており、地方公共団体が、第三セクター等に対して公的支援を行う場合には、債務についての損失補償を行うべきではないと否定している。

今回の予算の考え方は、この指針に違反しており、なぜ「エポック」の負債を町が負わなければならないのかという町民の声も多く、これを無視することはできない。

8名の議員が討論!!

修正案・原案に反対討論

藤升議員

第三セクター整理交付金4700万円を3000万円しか使わないというものであるが、残りは「エポック」が払わなければならない。地域商社については、昨年から繰り返し町民に知らせることを求めている。説明会等も行われているが、生産者を巻き込むものではない。議会にもその説明はされていない。

庭田議員

「エポック」はこれまで28年間にわたり約50億円の経済効果を生み出している。株式会社ではあるが、設備投資の遅れや、十分とは言えない支援を考えれば、債務を個人に押し付けることは、町の責任としてやるべきではない。

地域商社の事業は、2年経過しても何ら進展が見られない。撤退すべきである。

河村(申)議員

「エポック」も昨年時点で清算していれば、累積赤字はもっと低かったと思う。

地域商社については、今年度まで、3540万円が使われている。先行投資も必要だが、身の丈や力量にあった事業をしていかなければ、



道の駅かきのきむら

借金が増えるだけである。

原案に賛成討論

松蔭議員

「エポック」は産業振興と所得向上を目指し、「一生涯命やってきた」

議会には、監視の役目もあるので、議会にも責任があると考えます。

町にも監視責任がある。支援は当然である。

桑原議員

「エポック」が債務超過に陥ったひとつの要因として、園床生産がある。

老朽化した園床施設を更新しなかった。筆頭株主である町の責任は重大である。町はこの債

務について補償あるいは支援する責任がある。4700万円全額執行すべきである。

中田議員

当初、4700万円全額公費負担であったが、その後、3000万円を町が負担、「エポック」が経営責任として1700万円を負担することになった。ある程度の経営責任は仕方ない。

修正案に賛成討論

桜下議員

第三セクターの筆頭株主であり、社会的責任があるので、血税で全額負担することは、町民の理解が得られない。

三浦議員

この整理交付金は税金である。「エポック」の債務超過についての背景を見ると、公金の使い方について理解できない。

(注1)「原案」とは町長が提案した予算案、「修正案」とは大多和議員ほか3名の議員が提出した原案の一部を修正する予算案です。

(注2) 誌面の都合上「株エポックかきのきむら」を「エポック」と省略しています。

町の令和3年度施策から

・彫刻の寄付

第28回UBEピエンナーレで、島根県吉賀町賞に選ばれた川村秀彦氏の作品「風路（ふうろ）」が、同氏の意向により町に寄付されることになり、正国公園に設置される予定。



【風路】



木部谷保育所

- ・朝倉保育所、木部谷保育所の閉所決定
町立の小規模保育所を運営するには、国の認可基準を満たした上で5人以上の入所園児が必要。

・蔵木小学校の大規模改修

「吉賀町学校施設の長寿命化計画」に基づいて、蔵木小学校の大規模改修を進める。3年度、外壁調査の実施。分析委託料1,452千円。



蔵木小学校



旧柿木中学校

- ・地域間交流拠点施設の廃止
旧柿木中学校の施設を、現状のままで民間へ無償譲渡することで有効活用され、地域の活性化につなげるため、譲渡処分する。

・林業専用道幸地立河内線開設事業

3年度事業負担金	3,500千円
全体計画 路線延長	9,000m
事業費	約9億9,000万円
事業期間	2期10年

臨時会

令和3年第1回（令和3年2月8日）

【議案】

- * 益田地区広域市町村圏事務組合の事務変更の伴う財産処分
- * 唐人屋トンネル補修工事の請負契約の締結
- * 移動図書館車購入契約の締結
- * 令和2年度一般会計補正予算（第10号）

ピックアップ

* 移動図書館車購入

- ・現在の「みたい号」は平成12年3月導入で、老朽化したため
- ・町内の小学校と保育所を毎月1～2回まわり、年間1万2,000～3,000冊貸し出している
- ・新しく購入する図書館車は最大で1,800冊積載可能



現在の移動図書館車「みたい号」

* 一般会計補正予算

除雪委託料	61,467千円
新型コロナワクチン接種経費	5,613千円

桜下議員

連担地の除雪はしないとのことだったが。



建設水道課長

積雪が50cmを超えたので、豪雪対応として行った。

藤升議員

自治会等に除雪機の購入に対しての補助は。



企画課長

直接の補助金はない。

全員協議会

令和2年第11回（令和2年12月23日）

*令和2年度の吉賀町医療介護あり方検討会議の報告がありました。

第6回会議を令和2年5月26日に開催し、公設民営化に向けての課題整理を協議

▶ 6項目の課題の整理

- ① 社会医療法人の要件 ➡ 拠点施設の所有権譲渡に関して、国に照会し可能とのこと。
- ② 町財政に及ぼす影響 ➡ 分析の結果、令和10年度末には深刻な状況が予想される。
- ③ 石州会の経営改善、公設民営化の時期
➡ 経営改善の状況により決まるため、現状では判断できない。
- ④ 長期にわたる、機能、規模の検討
➡ 町が望む将来の病院像について検討中である。
- ⑤ 手続き ➡ 医療法、公営企業法等により変更届、異動届などが必要となる。
- ⑥ 指定管理の手法の検討 ➡ 津和野町のような代行制も検討していく。

公設民営化に移行する場合、町の病院事業会計の収入で指定管理料等を含めた費用を賄う必要があります。

一般会計からの繰出金が、町財政へ与える影響を考慮する必要があります。

石州会からの資料で収支予想をすると、公設民営化時の町財政への影響は令和10年度末をもって深刻な影響を与えると予想されました。

令和3年第1回（令和3年2月24日）

第5次社会医療法人石州会六日市病院支援計画

吉賀町の地域医療を守るため、国の特別交付税制度を活用した石州会への支援

令和3年度当初予算

特別交付税 128,171千円 + 一般財源 32,043千円 = 160,214千円

【参考】

〔町からの補助金の推移〕

平成28年度	237,334千円
平成29年度	237,334千円
平成30年度	194,214千円
令和元年度	260,214千円
令和2年度	210,214千円

議会についてのご意見をお聞かせください

吉賀町議会では、議会活性化のため、具体的な取り組みを進めています。

つきましては、住民の皆様から議会についてのご意見や提言をお寄せいただきたいと思っております。
ご住所やお名前を記入された方には、回答させていただきます。

なお、議会・町政に関しないものやひぼう中傷等には回答いたしませんので、ご了承下さい。

のりしろ		切り取り
のりしろ	料金受取人払 〒011-8501 岩手県花巻市 215 差出有効期間 2021年12月 31日まで (切手不要)	698-8790
	ご意見等ある方は、 裏面にご記入の上、 外枠にそって切り 取り封書にして投 函してください。	吉賀町役場 議会事務局 行
のりしろ	切り取り	切り取り
のりしろ	切り取り	切り取り

次のことにご注意いただき、ご意見等をお寄せください。

- ◇議会・町政以外のことについてのご意見等をご遠慮ください。
- ◇ご住所、お名前の記載がない場合は、回答はいたしません。
- ◇いただいたご意見等を、匿名で「議会だより」や町のホームページに掲載することがあります。
- ◇簡潔な内容でお願いします。



折ってください

切り取り

回答を希望される方はご住所、お名前を記入してください。

(個人情報保護により、記載されたご住所、お名前等は他の目的には使用しません。)

ご住所 〒

お名前

男・女 (歳代)

件名

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

折ってください

切り取り

『議決結果表』

【全員賛成で可決した議案】

(議長は、可否同数の場合を除き採決に加わらない)

	議案番号	件名
第1回臨時会	議案第1号	益田地区広域市町村圏事務組合が共同処理する事務の変更に伴う財産処分
	議案第2号	請負契約の締結(町道唐人屋線唐人屋トンネル補修工事)
	議案第3号	動産購入契約の締結(移動図書館車購入事業)
	議案第4号	令和2年度吉賀町一般会計補正予算(第10号)
第1回定例会	議案第5号	令和2年度吉賀町水道事業会計補正予算(第2号)
	議案第6号	令和2年度吉賀町興学資金基金特別会計補正予算(第2号)
	議案第7号	令和2年度吉賀町介護保険事業特別会計補正予算(第5号)
	議案第8号	令和2年度吉賀町小水力発電事業特別会計補正予算(第3号)
	議案第9号	令和2年度吉賀町一般会計補正予算(第11号)
	議案第10号	吉賀町過疎地域自立促進計画の変更
	議案第11号	請負契約の変更(町道唐人屋線唐人屋トンネル補修工事)
	議案第12号	財産の無償譲渡
	議案第13号	吉賀町議会議員及び吉賀町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定
	議案第14号	吉賀町教育振興計画策定委員会設置条例の制定
	議案第15号	吉賀町農地耕作条件改善事業分担金徴収条例の制定
	議案第16号	吉賀町まちづくり委員会条例の全部改正
	議案第17号	吉賀町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正
	議案第18号	吉賀町国民健康保険税条例の一部改正
	議案第19号	吉賀町介護保険条例の一部改正
	議案第20号	吉賀町営住宅条例の一部改正
	議案第21号	吉賀町小規模保育所条例の廃止
	議案第22号	吉賀町地域間交流拠点施設条例の廃止
	議案第23号	令和3年度吉賀町水道事業会計予算
	議案第24号	令和3年度吉賀町興学資金基金特別会計予算
議案第25号	令和3年度吉賀町国民健康保険事業特別会計予算	
議案第26号	令和3年度吉賀町後期高齢者医療保険事業特別会計予算	
議案第27号	令和3年度吉賀町介護保険事業特別会計予算	

【全員賛成で可決した議案】

	議案番号	件名
第1回 定例会	議案第28号	令和3年度吉賀町小水力発電事業特別会計予算
	議案第29号	令和3年度吉賀町下水道事業特別会計予算
	議案第30号	令和3年度吉賀町農業集落排水事業特別会計予算
	議案第33号	令和2年度吉賀町後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算(第3号)
第1回 定例会	発委第1号	民生委員・児童委員の処遇改善等を求める意見書(案)
	同意第1号	吉賀町農業委員会委員の任命(六日市、尾崎 勝典氏)
	同意第2号	吉賀町農業委員会委員の任命(広石、河口 貴哉氏)
	同意第3号	吉賀町農業委員会委員の任命(藝野、河野 達氏)
	同意第4号	吉賀町農業委員会委員の任命(七日市、齋藤 孝氏)
	同意第5号	吉賀町農業委員会委員の任命(七日市、田淵 文雄氏)
	同意第6号	吉賀町農業委員会委員の任命(下須、田村 兼平氏)
	同意第7号	吉賀町農業委員会委員の任命(坂月、藤井 和子氏)
	同意第8号	吉賀町農業委員会委員の任命(立河内、正木 潤一氏)
	同意第9号	吉賀町農業委員会委員の任命(坂月、見川 恒栄氏)
	同意第10号	吉賀町農業委員会委員の任命(福川、三井 利民氏)
	同意第12号	吉賀町農業委員会委員の任命(樋口、山吹 寛氏)

【賛成多数で可決した議案】

○:賛成 ●:反対

	議案番号	件名	桑原	三浦	桜下	松陰	中田	大多和	河村(輝)	大庭	河村(由)	庭田	藤升
第1回 定例会	議案第32号	請負契約の変更(町道朝倉真田線七村橋補修工事)	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
	同意第11号	吉賀町農業委員会委員の任命(立戸、森下 保氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	発議第1号	地方財政の充実・強化を求める意見書(案)	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○
第2回 定例会	議案第34号	令和3年度吉賀町一般会計予算【議案第31号の内容を修正し、再提出したもの】	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○

【賛成少数で否決した議案】

○:賛成 ●:反対

	議案番号	件名	桑原	三浦	桜下	松陰	中田	大多和	河村(輝)	大庭	河村(由)	庭田	藤升
定例 1回	議案第31号	令和3年度吉賀町一般会計予算【修正案】	●	○	○	●	●	○	●	○	●	●	●
		令和3年度吉賀町一般会計予算	○	●	●	○	○	●	○	●	●	●	●

除雪の対応は



中田 元

質問

今年1月の大雪で町道の除雪について評価や、苦情等を多数聞いた。

評価としては、市街地の除雪をしたことで、町民全体が助かった。今後は豪雪でなくても行うべきである。

苦情として、家の前の除雪をしなかった。沢田地区では、自分で除雪を行った。除雪を行った所も大変ずさんで危険であった。他の路線も路面は悪く、離合場所もなかった。

委託業者の選定の仕方、契約内容、遂行状況の方法などを明らかにして頂きたい。

数年に一度の豪雪対応には限界がある

町長

今年は連日大雪で町道の除雪作業を行った。豪雪時（50センチ以上）の対応である。

委託業者の選定は業者の所在地を基本とした。契約内容については、機種ごとの時間単価である。

遂行状況については、除雪後作業日報の提出というシステムである。町と業者が保有している機械の不足もあり、多くの苦情等があった。早く受け止めている。事前準備はしたが…

建設水道課長

事前に業者だけの除雪会議も開催している。路面状況の悪さ等、認識はしている。

健全な財政運営を



河村 由美子

質問

コンコルド効果や行政神話、この言葉に本町にも当てはまる事業があると言えないか。

自主財源の落ち込みの分析、取って変わる新たな財源の確保と新年度の地域振興策、成長戦略を示してほしい。

町長

取り巻く環境の変化や厳しい財政状況に対応し、持続可能な安定的な行政運営の確立を目指す。第4次の吉賀町行政改革・財政健全化計画を策定したところである。

行政コスト削減、大幅な事業の見直し、財政マネジメント強化のため、コスト意識の徹

質問

底と既存事業の必要性、妥当性、費用対効果等の検証に取り組みと明記している。

従って目的意識を明確に前例に倣われず、変化を恐れず困難な情勢を乗り越えていく。自主財源の落ち込みは、新型コロナ感染症による町内飲食店を始め、大半の業種に影響が出ている。

町長

取り巻く環境の変化や厳しい財政状況に対応し、持続可能な安定的な行政運営の確立を目指す。第4次の吉賀町行政改革・財政健全化計画を策定したところである。

行政コスト削減、大幅な事業の見直し、財政マネジメント強化のため、コスト意識の徹



一貫性のある農業政策を



庭田 英明

質問

吉賀町の米は白いダイヤと評価されて、全国食味コンテストでも注連川の方が金賞を受賞された。

評価の高い米をどのようにして、ブランド化し、育てていくのか。人をブランド化

町長

すばらしいお米を作っている人がいることを内外に広め、米ではなく農家をブランドとして認証し、支援をしていく。

質問

推進する考えはないのか。

計画は見直し、再構築していく必要がある。行政として興味を持っていく組織や団体と一緒に推進していきたい。

町長

計画は見直し、再構築していく必要がある。行政として興味を持っていく組織や団体と一緒に推進していきたい。

再質問

町は2008年に農水省から有機農業のモデルタウンに指定されている。

推進計画は作られたが、会は一回も開かれていない。有機農業を

町長

住まい対策や、遊休施設

住まい対策や、遊休施設の民間譲渡など、資源を活かす方向で既存の制度への上乗せの施策などを検討している。

町長

住まい対策や、遊休施設の民間譲渡など、資源を活かす方向で既存の制度への上乗せの施策などを検討している。

町長

住まい対策や、遊休施設の民間譲渡など、資源を活かす方向で既存の制度への上乗せの施策などを検討している。

住まい対策や、遊休施設の民間譲渡など、資源を活かす方向で既存の制度への上乗せの施策などを検討している。

病院の病床数に対する考えは



藤 升 正 夫

質問

六日市病院 存続を考えたとき、町と病院のベッド数に対する考え方の違いについて、医療需要との関係を含めて聞

ベッド数がおおむね60床。

三、六日市病院110床に占める吉賀町民の入院患者数が、現在おおむね60人。

問題は病床を減らすスパン

町が公設民営方式で病院を設け、地域医療を守るための必要とする病床数を、50床から60床が適当と判断する際に参考としたのは次に

石州会から町に提出された病床編成の資料によると、令和5年度まで現行の110床を維持する計画となっている。

一、地理的要因や人口規模、高齢化率等

が類似した津和野町のベッド数が49床。

二、中国・四国地方に存在する人口規模が吉賀町と同一規模の自治体病院の

問題は、現在勤務している方、入院している方がいるので、どれだけのスパン(期間)で病床を減らしていくのかということになる。

役場組織の再編と公民館の充実を



大 多 和 安 一

質問

公民館に役場正職員を配置し、役場と直結して、戸籍・上下水道等の事務を担い、高齢者の見守りも出来る組織に再編すれば良いと思うが、

は、住民同士で課題を出し合い議論してもらいたい。

又喫茶室も併設すれば地域住民に近づける活動となるのでは。

そして庁舎も統合し、柿木地域に散在する各種施設を現柿木庁舎に集合させ、公共交通網をこれに合わせて整備すれば良いと思うが、

公民館を核とした地域づくりを

町長

正職員配置は、課題が多く対応困難である。公民館を核とした地域づくりを進めているので、各公民館が、どのように地域を活性化するか



朝倉公民館

高津川の整備を



大 庭 澄 人

質問

吉賀町を流れる高津川は、清流日本一と町は宣伝してきている。しかし、その上流の一部は、竹やぶが河川敷を覆い、川の中には大石やゴミなどもある。境界も崩れ、危険でもあり、これが高津川の一部であるのか目を覆いたくなる箇所もある。

強力な要望活動を行う

町長

現状はしっかりと認識しており、その解決のため農足土木協会を通じて、機会あることに県のほうに要望している。

防火対策は

質問

その部分は竹が覆い茂って全くわからない。これらの竹を放置すること自体、問題である。景観上も汚く、なぜ放置しているのか首をかじげたくなる。

昨年の秋、民家が全焼する火災があった。消防水利が悪く、用水路を利用しての消火活動をした。この用水路を活用できるよう、用水路の途中何カ所かを少し広くして、水を取りやすく改良できないか。

消防水利の見直し

町長

提案のあった内容を是非検討してみたい。

この問題は、過去にも取り上げており、町は県には毎年言っていると言いが、これが町のとる姿勢なのか。

施政方針を問う



松 蔭 茂

質問

施政方針はこれからの町政の方向性など町民生活全般に影響するものである。いくつか内容を聞く。

- 1、AIを活用しての特定健診はどのようにやるのか。
- 2、農業振興対策でスマート農業をどのように導入推進するのか。
- 3、地域産品情報発信事業の内容は。
- 4、自治振興で自治会館、地区集会所が活動拠点になるように検討し、経費の平準化を行うとは。

国保の受診率向上を目指す

町長

1、特定健診対象者の受信データ等を基にA

1が分析を行い、受診勧奨を行うものである。

2、あらかじめ設定された圃場の情報を基にトラクタ等の自動運転を行うものである。

3、ウェブサイトで本町の産品、生産者の情報を発信するもの。
4、指定管理料等削減することで、自治会館、集会所の管理料削減、借地料無償化を行うもの。



コロナ禍収束後のまちづくりは



三 浦 浩 明

質問

コロナ感染の影響で住民の生活環境や企業においても、これまでとは異なる様々な負担や精神的苦悩などの悪影響がある。

今後、コロナ禍が収束した後の住民や企業に対しての経済支援を含め、今以上のまちづくり対策の強化が必要と考えられる。

本町の財政健全化を図りながら、安定的な経済対策を継続していくため、住民や学校・病院・福祉施設・各企業に対し、どのような対策を講じていくのか

質問

コロナ感染の悪影響が長期化すること懸念されるため、追加支援は当然必要と考えている。

町長

現状では地域経済への悪影響が長期化することが懸念されるため、追加支援は当然必要と考えている。

現在、国の財源による緊急支援策やアフターコロナを見据えた事業などの検討を各部署で行っている。関係機関の意見も踏まえた上で早いうちに予算化していきたい。

コロナ禍収束後のまちづくりは、感染対策本部で収束に向けた対応をしっかりとし、まちづくり計画・総合戦略を展開しながら、財政健全化計画も策定中で、確実な事業執行に努めていく。



持続可能なまちづくりを



河 村 隆 行

質問

子どもは町の宝である。夢を聞いてほしい。

中学生になると部活動があるが、野球、テニス、卓球など、自分の夢が叶わないこともある。そこには校区という問題がある。多様な子ども達の夢を聞いてあげてほしい。校区などは押し付けていないか。

この先結婚し、育てる側になる若者や、子ども達の夢・考え・希望・期待をきちんと取り込んだ政策がないと、人口減少に歯止めがかからないのでは。

総合戦略・人口問題で、この町を託しているのだから、もっと彼らと話し合い、夢を叶えてあげ、私達の夢も叶えてもらう。考えを

質問

子ども中心のまちづくり

町長

総合戦略をはじめ、まちづくり計画等、常に子どもを中心に設定されている。これからはその思いは変わらない。校区外通学の制度はある。

教育長

校区の必要性については、議論のあるところだ。校区外通学等の制度もある。面談等しながら対応している。



町財政、人口規模に合うコンパクトなまちづくりを



桜下 善博

質問 六日市病院の公設民営化に向けて協議が進められている。財政推計によると公設民営に移行した場合、6年後には町財政が破綻するとい

ただ単に、財政面での統廃合は議論していない。

庁舎一本化の考えはない

う厳しい報告があった。町民の命、介護を守る六日市病院でさえ規模を縮小せざるを得ない状況である。

町長 合併協議会での決定を尊重し、一本化する考えは現時点ではない。

町の財政、人口規模に合うコンパクトなまちづくりをするべきと思う。学校の統廃合、庁舎一本化、職員の削減は、

しかし、維持管理費を考えると、総合管理計画、個別施設計画の中で議論する。

職員の削減は難しい

学校の統廃合は議論していない

町長 第4次定員適正化計画に基づいて定員の管理を行っている。人口が減ったから職員数を減らすという議論にはならない。

町長 吉賀町教育振興計画に基づき、原則として全ての学校を存続させる。

最低限の職員が必要である。

発 委

（委員会が提出した議案）

「全員賛成により可決され、国会・内閣へ提出しました」

▼【発案第一号】

民生委員・児童委員の処遇改善等を求める意見書（案）の提出について

提出者 総務常任委員会

委員長 中田 元

【内容】

民生委員・児童委員のなり手不足を解消するため、国に対して報酬などの処遇改善を求めるもの

発 議

（議員が提出した議案）

「賛成多数により可決され、国会・内閣へ提出しました」

▼【発議第一号】

地方財政の充実・強化を求める意見書（案）

提出者 藤升 正夫

【内容】

地方の財政需要に対応するため、さらなる地方財政の充実・強化を国に求めるもの

要 望

「この要望書は、議会としての意見をまとめたため、正副議長が提出者に伝えました」

▼【要望第一号】

社会医療法人石州会の経営安定化に関する要望書

提出者 社会医療法人 石州会

理事長 谷浦 博之

お詫びと訂正

議会報告会における意見交換の中で、議会側より不正確な発言がありましたので、お詫びし、下記のとおり訂正します。

【町のラスパイレズ指数について】

(誤) 100 以上 → (正) H30.4.1 時点 100.2
H31.4.1 時点 99.1
R 2.4.1 時点 98.8

【真田グラウンドの年間指定管理料について】

(誤) 9,592 千円 → (正) 4,800 千円

【町のサッカー人口について】

(誤) 60 人 → (正) 320 人
(参考：R3年2月の真田グラウンド利用者数1,048人)

【町の滞納金額について】

(誤) 1 億円 → (正) 76,307 千円
(H31 年度決算による)



議会報告会

議会では、議会活性化の取り組みとして、議会報告会を町内5会場で開催しました。初めての試みではありましたが、全体で115名のご参加をいただき貴重な意見交換となりました。

各会場での主な意見は、下記のとおりです。

朝倉会場

- 地域商社の必要性を感じない。うまくいくとは思えない。
- 地域商社、病院問題について、執行部にスピード感がない。議会も提案すべき。
- 外国人労働者の受け入れ企業に住宅環境費用などの支援をすべき。



七日市会場



- 若い人が農業で生活ができ、新しいことをはじめやすい環境を整えるなどの方向性を出してほしい。
- 六日市病院の存続は、町民が一番不安に感じていることなので、その情報を広報してほしい。
- 地域商社について、議員も対案を出し、町民に投げかけてほしい。
- 河川環境を整え、きれいな町づくりをしてほしい。

柿木会場

- [柿木村]という名称に魅力を感じて引っ越してきたのに、住居表示がなくなるのは残念だ。
- 住居表示の総務常任委員会での審議のやり方は、民主的でないと感じる。



蔵木会場



- 町職員が100人以上いるというが多いのでは。
- 子どもが減っているのに真田グラウンドのサブグラウンドは必要なのか。
- 町の行財政改革の方向性を町民に示すべきでは。

六日市会場

- 議員定数について、全国・県内町村の平均は。
- 初めて傍聴に行き、大変参考になった。柿木、六日市の違いを認め合って、統一した方向で考えてほしい。
- 地域商社のことで、議会としてももう少し切り込んでチェックしてほしい。
- 廿日市のアンテナショップで、吉賀町内の産品より他町村の商品が溢れているのはおかしい。
- 六日市病院の存続について、情報提供をしっかりとしてほしい。



意見交換会

石州会との意見交換を実施

1月27日に、石州会谷浦理事長をはじめ4名の幹部職員の方と意見交換をしました。六日市病院の今後のあり方について共通理解を深めるため

①病院の公設民営化について

②病院の財政状況及び経営改善について

③医療従事者確保について

などのテーマで意見交換を行いました。

今後も、引き続き実施していきたいと思
います。



石州会との意見交換

常任委員会

鳥獣被害対策の先進地を視察

〔経済常任委員会〕

2月2日に、産官学民の連携で鳥獣被害対策「美郷バレー構想」を展開している美郷町の取り組みを視察しました。

今後、「当町においても、捕獲から加工販売までのシステムづくりを行政が主導して積極的に取り組むべきである」と感じました。



美郷町への視察

【今月の表紙】

新入生33名を迎え、4月9日、吉賀高校入学式が行われました。

新入生代表小田裕一朗君が、「小さな学校で大きな夢を」を合言葉とする吉賀高校で、目の前の一つひとつのチャンスを積極的ににつかんでいきたいと宣誓しました。

編集後記

新型コロナウイルスに翻弄され、変異ウイルスに注意を払う必要にも迫られているなか、わが町も新緑に誘われ、全ての命が動き始めております。

今年も新年度予算が成立し、新たにスタートしていきますが、今一度、議員は町民の生活のために、行政を手エックしていく必要があります。

私たちは、身を削っていく覚悟で、今後も皆様の声を反映していきます。

文責 大庭 澄人